

# 令和元年度事業報告

(令和元年4月1日から令和2年3月31日まで)

## 1 専修学校等教育振興事業の報告

### (1) 全般的運営

#### ① 通常総会

第65回 令和元年 5月27日 私学会館

#### ② 理事会

第1回 令和元年 5月 8日 文書による

第2回 令和元年 5月27日 私学会館

第3回 令和元年 8月19日 私学会館

第4回 令和元年12月13日 私学会館

第5回 令和2年 2月18日 埼玉会館

#### ③ 委員会

会計委員会 2ヵ月に1回報告会 広報委員会 12月13日

教員研修委員会 6月29日、8月19日

埼玉県専門学校AO入試検討委員会 2月18日

#### ④ 分野別部会

各分野別に3月～4月に実施

### (2) 研修会等の開催

#### ① 教員研修会

ア 期日 令和元年6月29日 7月13日 7月27日

イ 時間 3日間とも午前9時～午後4時

ウ 会場 JA共済埼玉ビル(さいたま市大宮区)

エ 講師 埼玉大学教授等

オ 受講者 57名(1年次 40名、2年次 17名)

#### ② 教員認定

認定者 50名(専門課程 23名、高等課程 27名)

#### ③ 人権教育研修会

ア 県学事課共催で実施

令和元年7月26日 北部地区 熊谷市立商工会館

令和元年7月22日 南部地区 県民健康センター

イ 教員研修会に取り入れて実施

令和元年6月29日 JA共済埼玉ビル 参加者 40名

#### ④ 埼玉県専修学校各種学校連絡協議会兼教育研修会

ア 期日 令和2年2月18日

イ 場所 埼玉会館

ウ 内容 県内の専修学校・各種学校を対象に、埼玉県総務部学事課等の協力を得て、県私学教育行政報告を行う。専門学校等教育の振興とこれからの課題等につ

いて講話を行う。

- ⑤ その他の研修会等
  - 専修学校教員研修指導者研修会・中堅教員研修会(TCE 財団)
  - キャリアサポーター養成講座(TCE 財団)
  - 労働保険関係相談対応事業(埼玉労働局)
  - 学校評価等研修会(法人立専門学校協会)
  - 学校法人監事研修会(文科省)
  - 教員国内派遣研修・教員研究奨励事業(TCE 財団)
  - 管理者研修会(法人立専門学校協会)
  - ビジネス教育事例発表研修会・専門学校留学生担当者研修会(TCE 財団)
  - 私学共済事務担当者連絡会(日本私立学校振興・共済事業団)
  - 留学生のための埼玉県連絡協議会研修会(連絡会・埼玉各) 他

### (3) 広報事業

- ① 広報委員会
  - ア 埼玉各だよりの発行、会員校へ情報発信
  - イ 埼玉県私学総連合会機関紙「埼玉私学」の発行(令和元年6月1日)
  - ウ 民間広報誌への情報提供と校正
- ② 刊行物について
  - ア 「埼玉県専門学校等概要」(広報委員会)  
2,200部(6月に県内高校や200以上の図書館等に発送・他で配布)
  - イ 「会員校名簿」や広報チラシ・パンフレット
- ③ その他
  - 埼玉各ホームページ広報(スマートフォン対応)
  - 全国専修学校総覧・他の編纂補助
  - 「いま、専門学校から」・「専修学校」等配布
  - 高等専修学校案内パンフレット配布
  - 埼玉県高等学校進路指導研究会対応
  - 新聞等による広報、その他の広報活動

### (4) 教職員、学生、生徒への表彰事業

- ① 教職員
  - ア 永年勤続教職員 (埼玉県知事 埼玉県私立学校総連合会) 1名
  - イ 優良教職員 (一般財団法人職業教育・キャリア教育財団) 15名
- ② 学生・生徒
  - ア 学業技術成績優秀(一般財団法人職業教育・キャリア教育財団) 75名
  - イ 学業技術成績優秀(一般社団法人埼玉県専修学校各種学校協会) 120名
  - ウ 学生体育活動等の表彰

### (5) 専門教育等の振興

① 関連諸団体との交流

ア 全専各連等の運営及び諸行事への参加

全専各連、(一財)TCE財団等の各種活動への参加

イ 第61回全専各連南関東ブロック会議(東京都大会)

- ・主 管 (公社)東京都専修学校各種学校協会
- ・日 時 令和元年10月30日13時00分～19時30分
- ・会 場 新宿区 京王プラザホテル
- ・参加者 約230名
- ・内 容 開会行事(主催者・全専各連・文科省・東京都私学部長等挨拶)  
文部科学省・厚生労働省・各県担当者より行政報告、全専各連報告  
第1分科会・第2分科会  
閉会行事  
交流会

ウ 外国人留学生のための専門学校進学相談会

- ・期 日 令和元年10月20日
- ・場 所 文化学園遠藤記念館

エ 埼玉県私学振興研修会

- ・期 日 令和元年4月15日
- ・場 所 浦和ロイヤルパインズホテル

オ 南関東ブロック専修学校各種学校教育研究会(東京専各)

- ・期 日 令和2年2月4日
- ・場 所 アルカディア市ヶ谷

カ 永年勤続者表彰式(埼玉県私立学校総連合会)

- ・期 日 令和元年6月14日
- ・場 所 プリムローズ有朋  
被表彰者56名(埼玉専各1名)

キ 埼玉県私学教育振興研修会

- ・期 日 令和2年1月27日
- ・場 所 浦和ロイヤルパインズホテル  
参加者109名(埼玉専各27名)
- ・講 演 「親学のすすめ」  
講師 一般財団法人親学推進協会  
会長 高橋史朗様

ク その他の団体(参加・委員派遣)

健全な留学生のための埼玉県連絡協議会  
求職者支援機構埼玉センター  
訓練計画専門部会(在職者訓練・離職者訓練)  
厚生労働省埼玉労働局  
埼玉県地域訓練協議会  
ワーキングチーム会議  
埼玉県地域ジョブカード運営本部

若者自立支援連携会議  
 埼玉県交通安全対策協議会  
 埼玉県防犯のまちづくり推進会議  
 交通事故救急救命法教育講習会  
 埼玉教育ふれあい賞表彰事業  
 職業教育の日作文コンクール後援  
 彩の国教育の日推進会議 等に協力、参加あるいは委員を出す。

② 高等学校等との連携

- ア 会員校における高校生等の専門教育・職業教育体験活動  
 会員校における学校説明会、オープンキャンパス、体験入学・学習等を高校 1、2 年生にも開放
- イ 埼玉県専門学校等概要・チラシ等を各高等学校等へ無料配布
- ウ 埼玉県職業教育フェアの協力
- エ 埼玉県及び埼玉県教育委員会等が推進する中高校生の体験活動協力
- オ 埼玉県教育局高校教育指導課・家庭地域連携課、埼玉県高等学校進路指導研究会等連携
- カ 埼玉県専門学校の入學願書受付期日(AO 入試を含む)を県内高校及び関係機関に配布

(6) その他の活動

① 相談・指導事業

中高校生や中高教員・一般人の進路相談や教育相談と資料提供、講師派遣相談、会員校教職員・学生・保護者の教育相談（一般の相談件数 100 件以上、会員校関係者や企業・団体・関係機関の問合せ等を含めると 250 件を超える）

② 研究・調査等

国・県・全専各連等の調査回答、就学支援金や雇用促進事業等の情報収集や資料提供、学生募集方法や AO 入試等に関する調査研究、高校連携等の調査

③ 国・県の雇用促進政策の実施と協力

④ 就学支援金・父母負担軽減促進、教育ローン・奨学金、私学審議会、TCE 財団等の保険関係、法人監査・報告事務、外部広報誌の精査・校正、会員校式典等への対応、他

⑤ 留学生教育や留学生受入れ推進

⑥ 一般社団法人移行による公益目的支出計画報告

⑦ 職業実践専門課程設置や専修学校等の質的向上の支援

⑧ 埼玉県私立学校総連合会事務局としての活動

2 退職基金共済事業の報告

(1) 加入学校法人等

① 加盟及び退会について

区分	平成 30 年度末	令和元年度			令和 元年度末
		加入	退会	増減	
学校数	32 校	0 校	0 校	0 校	32 校

② 登録教職員数について

平成 30年度末	令和元年度			令和 元年度末
	資格取得届	資格喪失届	増減	
429名	35名	48名	△13名	416名

(2) 資金に関する計画

① 学校法人等負担金収入額	109,045,280円
② 県費補助金収入額 (令和元年度私学教職員退職金共済事業補助金)	26,838,000円
補助率	19/1000

(3) 運用収入額

① 基本金について	
ア 基本金の額	72,150,000円
イ 運用収入(国債利金収入)	227,850円
② 利子配当金収入について	
ア 退職事業責任準備金積立額	1,271,773,211円
内普通預金	123,260,061円
内定期預金	100,000,000円
内国債	1,048,513,150円
イ 運用収入(国債利金収入他)	8,918,971円

(4) 退職金の給付

20校の46名に対し95,427,918円を支給した。

※1年未満の退会者2名を含まない。転出5名。転入5名。

(5) 責任準備積立金不足額(令和2年3月31日現在)

① 責任準備金(推定額)	1,468,417,500円
② 積立金残高	1,271,773,211円
③ 不足額(1-2)	196,644,289円
④ 充足率(2÷1)	86.6%

(6) 主要会議

総会	令和元年5月14日	プリムローズ有朋
第1回正副幹事長会	令和元年5月14日	プリムローズ有朋
第1回幹事会	令和2年2月14日	プリムローズ有朋
第2回正副幹事長会	令和2年2月14日	プリムローズ有朋

## 事業報告の付属明細書

### 1 役員以外の法人等の業務執行理事等との重要な兼職の状況

重要な兼職にあたる役員はいない。

ただし、本会の役員は、会員校の理事長、校長等を兼務している。また、本会の全国組織団体や関連団体の役員に、本会等から選出及び派遣等されて兼務する役員もいる。

### 2 その他の記載事項

- (1) 退職基金共済事業は「埼玉県私学教職員退職金共済事業補助金交付要綱」に基づき作成された本会の「退職基金共済事業管理運営規則」、「同 共済業務運営規則」、「同 運営細則」によって、設置された幹事会及び幹事長によって運営している。
- (2) 一般社団法人として移行認可を平成 25 年 3 月 19 日に受けたので、平成 25 年 4 月 1 日に一般社団法人埼玉県専修学校各種学校協会として登記した。
- (3) 平成 25 年 3 月 31 日の貸借対照表に基づいて公益目的財産額(137,578,255 円)を確定し、平成 25 年度から 18 年間(令和 12 年度末まで)公益目的支出計画を実施していく。(平成 25 年 6 月 20 日埼玉県知事より承認)